静岡県支部独自の活動としての研究会設立

去る 8 月 26 日に行われた静岡県支部役員会にて、以下に紹介する 6 研究会の設立が承認されました。気になるテーマで他の技術士の情報や知恵を聞きたい方は、今後も参加を歓迎致しますので、各研究会の参加者に申し出てください。現在、スタートしばかりで活動はあまり進行しておりませんが、以下のような方向性で論議されております。今後の進行度も含め、ぜひお問い合わせください。

１．防災研究会

参加者：吉田会長、山之上副会長、柴田幹事、角入会員、土井会員、小泉会員、馬淵会員

①地形･地質から想定される自然災害リスク（静岡市自治会毎の街歩き資料の作成とプレゼン）

② 富士山の火山噴火の研修

③ 発災時における技術士の支援活動の整理

④ 防災 Q&A の静岡版作成　　の活動内容とする。

２．インダストリ 4.0・IOT 研究会

参加者：小澤会長、白木副会長、三宅幹事

① 生産工場内での実際の導入事例（成功・失敗例；成功させるための方法を探す）や建設現場での活用の模索。また、見学会（三菱電機　名古屋製作所、特電（オムロン等の商社）のショールーム見学）や講演会（支部例会活用）を行う予定。

成果報告として、静岡県支部例会で報告します。

３．建設研究会

参加者：山之上会員、馬淵会員、池谷会員、水野会員、柴田会員（役員人事未定）

①安全安心のまちづくりへの提案（道路維持・清水港）

②関係市町への工事監査業務受託への取り組み

③富士教育訓練センターとの業務連携（講師派遣や新しいカリキュラム提案）への取り組み

④建設事業関係者のネットワークつくり、～縦の関係を創る～

⑤建設業界に若者を呼び寄せよう～土木の日、測量の日など各業界の PR の日に県技術士会として出店はどうか？

＊活動内容は、まだ、合意されているものではありません。

４．総合技術監理部門研究会

参加者：五味会長、柴田副会長、大出幹事

① 総合技術監理部門の意義を社会的に訴える！

県支部の会報（年度最終版）に各人Ａ$_4$２頁くらいで「総合技術監理の理解を促し、社会への活用のアピールレポート」を掲載する。今年は年末に確認の会議を予定。

４．オープンＣＡＥ活用（構造）研究会

参加者：小南会長、日名地副会長、

オープンソースの科学技術/工学シミュレーションソフトを高額な商用ソフトが導入できないような資金力の弱い地元企業や地元の教育機関への教育支援のために普及導入を模索します。県内の大学・高専及び企業でのヒアリング調査によりニーズの整理とそれに合わせた操作講習会などの開催を成果として予定しております。

＊**倫理研究会**（参加者：山下会員、吉田会員、馬淵会員、平山会員）は準備中です。